

広 報

2023年6月号

編集委員 江村公良 南出美佐 前原直之 伊原孝子 佐藤栄輔

※レセプト受付事業は令和5年3月をもって終了いたしました

令和5年4月より返戻レセプトの原則オンライン化が始まりました。
これに伴い、毎月行っていた豊島区薬剤師会でのレセプト受付事業も、令和5年3月をもって終了とさせていただきました。

※別添の「豊島区薬業協同組合」の広報もご覧ください

事業者用ごみ処理券の販売の案内もぜひご覧ください。

都薬関連およびその他の重要な連絡事項など

1) 令和5年度 薬学講習会の開催について

本年も、都内在住・在勤の薬剤師を対象に「薬学講習会」が次の通り開催されます。
集合研修のみの開催でオンライン研修はありませんのでご注意ください。

1. 開催日時：令和5年8月27日(日)13:00~16:25(予定)
2. 開催場所：「東京国際フォーラム ホールA」 (千代田区丸の内 3-5-1)
3. 受講者：都内在住・在勤の薬剤師
4. 定員数：2,000名
5. 受講料：無料
6. 申込方法：都薬ホームページ「お知らせ」より、7月中旬頃に受付開始予定
7. 東京都薬剤師会 生涯研修認定制度：2単位

2) 【日本薬剤師研修センター】「やむをえない事情により研修が困難になった場合の措置」の一部改正について

日本薬剤師研修センターの研修認定薬剤師の更新に関して、令和5年1月30日付で「やむをえない事情により研修が困難になった場合の措置」が講じられておりましたが、同措置の一部改正を図った旨、同センターより連絡がありました。

今般の改正内容については、「事情期間が認定期間2年目と3年目に跨る場合において、認定期間の1年目に各単位取得条件を満たしている場合に限り、その2年間について各年単位取得条件を免除し、かつ認定期間を1年間延長する。更新申請条件は、延長した1年間を含めて4年間で合計30単位を

取得すること」とされました。（別紙「参考図」 例2-2参照）。

この他の本措置の対処となる事情、期間、届出等に変更はございませんので、それぞれの措置の内容、届出方法、書類等の詳細については、日本薬剤師研修センターホームページをご確認ください。

3) 令和5年度 第1回東京都がん薬物療法協議会～三団体合同薬薬連携推進研修会～WEB開催のご案内

昨年度、東京都がん診療連携拠点病院研修部会薬剤師小委員会、東京都薬剤師会および東京都病院薬剤師会によって発足した“東京都がん薬物療法協議会”の本年度第1回の研修会が次の通りWEBにて開催されます。是非ご参加ください。

1. 開催日時：令和5年7月9日(日)10:00～12:00 (WEB開催)
 2. 目的：令和4年度の報告と令和5年度の進め方について
 3. 研修内容：
 - ・2022年度 東京都がん薬物療法薬薬連携推進状況について
 - ・第2回東京都がん薬物療法協議会～三団体合同薬薬連携研修会～参加報告
 - ・2023年度 三団体合同薬薬連携研修会の進め方について
- 〈特別講演〉
- 『柏市における薬薬連携と地域包括システムで果たすべき薬剤師の役割』
- 演者：一般社団法人 柏市薬剤師会副会長 大塚 昌孝 先生
4. 配信：Zoomウェビナー
 5. 参加費：無料

〈問い合わせ窓口〉

がん研究会有明病院薬剤部 瀧口友美、清水久範 hisanori.shimizu@jfcr.or.jp

4) 薬用歯みがき類「チェック・アップコドモA」の使用後に発現したアナフィラキシーについて（厚生労働省より注意喚起）

今般、薬用歯みがき類の「チェック・アップコドモA」（以下「本製品」という。）の使用後にアナフィラキシーを発現したとされる症例が、令和4年12月から令和5年5月の間に3例（別紙参照）報告されました。

現時点では、本製品の使用とアナフィラキシーの発現の因果関係は明らかではありませんが、本製品の使用に関する安全性についてはより注視していく必要があります、次の通りお知らせ致します。

なお、本製品は、歯科診療施設に向けて販売されています。

(1) 報告された3例はすべてアレルギー等の既往がある患者における症例であるため、歯科診療施設において、患者に使用する際には、既往歴の確認も含めアナフィラキシーの発現に注意いただきますようお願いいたします。

(2) アナフィラキシー等が現れたときは使用を中止し、本製品を持参して速やかに医療機関を受診するよう保護者等にご説明いただきますようお願いいたします。

(3) アナフィラキシー等の有害事象が認められた場合には、本製品の製造販売業者への情報提供又は独立行政法人医薬品医療機器総合機構への医薬部外品の安全性情報報告にご協力いただくとともに、製造販売業者からの調査があった場合にはご協力いただきますようお願いいたします。

5) 冊子「公衆衛生に関するQ&A～健康サポート編～」の発刊について

健康日本21(第二次)の中間報告で目標を達成できていない項目について、薬剤師が関わることのできる生活習慣の改善や、重症化予防に貢献できる内容を取り上げ、薬局薬剤師がセルフケア、セルフメディケーションの支援等の健康サポート業務を充実させるための資料となることを念頭に、標記冊子が東京都薬剤師会より作成されました。

本冊子は「都薬雑誌第45巻6月号」に同封して全会員に配付しておりますので、ご活用ください。

また、複数冊の購入を希望される場合は、別紙にて東京都薬剤師会事務局 職能対策課までお申込みください。

1. 冊子名：「公衆衛生に関するQ&A～健康サポート編～」
2. 体裁：B5判・72ページ
3. 配布方法：「都薬雑誌 第45巻6月号」に同封して全会員に配付
4. 別途購入価格：1冊@600円【会員価格@200円】(税込・送料実費)
5. 申込/問合せ先：別紙にて FAX あるいはメールにてお申込みください。

東京都薬剤師会 職能対策課 TEL：03-3294-0096 Fax：03-3295-2333
E-メール shokunou@toyaku.or.jp

6) 電子お薬手帳、新システム「e お薬手帳 3.0」への移行について

東京都薬剤師会が提供している電子お薬手帳について、これまでの運営事業者である株式会社NTTドコモ(以下NTTドコモ社)の「eお薬手帳」でのサービスを終了し、新たな運営事業者として株式会社ファルモ(以下ファルモ社)が選定されたことについては、すでにお知らせしたとおりですが、この度機能を拡充した患者向けスマートフォンアプリ及び薬局システムである「eお薬手帳3.0」が新たに開発され、次のとおり、本年7月3日に公開されます。

なお、「eお薬手帳3.0」の公開に並行し、NTTドコモ社の患者向けスマートフォンアプリ及び薬局システムにつきましては、利用者様や薬局が余裕を持って「eお薬手帳3.0」に移行ができるよう、約1年間の並行運用後、令和6年6月末日をもってサービスが終了となります。

現在、NTTドコモ社の薬局システムを導入している薬局の新システム「eお薬手帳3.0」への移行は、6月下旬公開予定の「eお薬手帳3.0」のwebサイトより、お申し込みが可能です。

詳細な申し込み方法やURL等につきましては、改めて案内予定とのことです。

なお、Q&Aについては別紙をご参照下さい。

- ・ファルモ社製患者向けアプリ「eお薬手帳3.0」並びに対応する薬局システム
患者向けアプリ「eお薬手帳3.0」 令和5年7月3日公開
薬局システム 令和5年6月下旬申し込み開始
- ・NTTドコモ社製患者向けアプリ「eお薬手帳」並びに対応する薬局システム
患者向けアプリ「eお薬手帳」 令和6年6月末日サービス終了
薬局システム 令和6年6月末日サービス終了

7) 学会案内リーフレットのご案内

日本医療薬学会より、添付資料の通り学会案内リーフレットが届きました。

日本医療薬学会は、病院、薬局、製薬企業、薬学教育機関等に携わる薬剤師を主体とした医療薬学分野における国内最大の学会です。学会が開催する学術大会等への参加は、単に研修認定単位の取得に留まらず、薬剤師としての職能を高める上での貴重な機会となります。日本薬剤師会学術大会への参加はもとより、積極的に学会への入会をご検討いただき、研究発表の機会に触れていただくことも是非ご検討ください。

豊島区薬剤師会からの連絡事項

1) 豊島区薬剤師会総会を開催いたしました。

令和5年6月27日（火）、豊島区薬業会館において豊島区薬剤師会総会を開催いたしました。全ての議案が可決されましたことをご報告させていただきます。

2) 新型コロナワクチン配付事業について

新型コロナワクチンの接種拠点施設へ配付を行う事業ですが、現在も事業継続中です。秋以降についても事業の継続が決まりました。拠点薬局におかれましては、引き続きよろしくお願いいたします。

3) 高齢者の服薬情報提供事業へご協力のお願い

当会と豊島区との共同事業「高齢者の服薬情報提供事業」へのご協力をいただき誠にありがとうございます。

残薬バッグの追加をご希望の場合は、事務局までご連絡ください。

なお、患者さんが来局され対応された先生は、引き続き翌月10日までに事務局まで所定の用紙にて報告をいただけますようお願いいたします。

4) 豊島区薬剤師会ホームページ更新について

日々情報を更新しております。ご活用ください。

■ <https://www.toyoyaku.jp>

■ 会員専用ページのID、PWIはいずれも「toshima」です。

今後とも、内容の充実を図るとともに、よりわかりやすい情報を発信してまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

会員数報告

A 会 員	116 名
B 会 員	14 名
賛助会員	2 名
合 計	132 名

保険部より

1) 毒物及び劇物指定令の一部改正について

厚生労働省医薬・生活衛生局長より通知がありましたのでお知らせいたします。

新たに1成分が劇物に指定され、2成分が月プルから除外されました。

詳細は保険部ページより原文をご確認ください。

保険部ページ >

https://drive.google.com/file/d/1zJzi5qSj18gC2uwI18vrGG8rZxBs4C2u/view?usp=drive_link

2) PMDA の電子報告システム(報告受付サイト)を用いた医薬関係者からの副作用等報告のお願いについて

厚生労働省医薬・生活衛生局医薬安全対策課より、別添のとおり事務連絡がありました。

薬機法に基づく副作用報告は従来の書面をFAXによる提出だけではなく、オンラインにて報告が可能となっております。今般、オンライン報告の普及のための案内がございましたのでご確認ください。



【動画について】

(1) 内容

活用される場面に応じて周知いただけるよう、15 秒動画と 90 秒動画の動画を作成しました。

- ・ 15 秒動画：報告受付サイトの概要と報告可能な内容についてのご案内
- ・ 90 秒動画：上記に報告受付サイトの活用シーンや便利な機能も含めたご案内

<動画場面の例>



(2) 視聴方法

以下の QR コード又は URL からご視聴いただけます。

<YouTube>

PMDA の YouTube チャンネル「Pmda Channel」の URL

<https://www.youtube.com/channel/UCi7YE0LvxBQ2WYNkXNZf5Tg>



<PMDA ウェブサイト>

PMDA ウェブサイト 医薬関係者からの報告のページの URL

<https://www.pmda.go.jp/safety/reports/hcp/0002.html>



3) 「新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に伴う公費支援の費用の請求に関する診療報酬明細書の記載等について」の一部改正について

厚生労働省保険局医療課より標記について連絡がありました。

新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に伴う公費支援の費用の請求に関する診療報酬明細書の記載等については、既にお知らせしておりますが、今般、「特記事項」欄の記載要領が一部改正されたとのことです。下線部が追記されておりますのでご確認ください。

4 「特記事項」欄について

オンライン資格確認等システム又は限度額適用認定証により、患者の所得区分を確認の上、患者の自己負担額が高額療養費又は一部補助の自己負担上限額を超える場合には、当該所得区分等に応じて、「診療報酬請求書等の記載要領等について」の『「特記事項」欄について』において定める略号、区ア、区イ、区ウ、区エ、区オ、区カ及び区キのうち、該当する略号を記載すること。

なお、入院における多数回該当の場合は多ア、多イ、多ウ、多エ、多オ、多カ及び多キのうち、該当する略号を、また、外来における多数回該当の場合は区ア、区イ、区ウ、区エ、区オ、区カ及び区キのうち、該当する略号を、それぞれ記載すること。

通知原文は保険部ページよりご確認ください。

保険部ページ > 新型コロナウイルス感染症関連 > 新型コロナウイルス感染症に係る診療報酬上の取扱いについて > 20230609都薬事務連絡_20230530業70_「新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更に伴う公費支援の費用の請求に関する診療報酬明細書の記載等について」の一部改正について

https://drive.google.com/file/d/1X1dEi5sP8yPXNIMyh5p1_lgnUa4Yypvs/view?usp=drive_link

4) 「オンライン資格確認等システムの表示等について（周知依頼）」の一部改正について

医療保険のオンライン資格確認については、昨今、保険者が登録した加入者データに誤りがあったことにより、別の方の資格情報が紐付き、薬剤情報等が閲覧される事案や、医療現場においてシステム

に関連したトラブルが生じたといった事案が報告されています。

これを受け、オンライン資格確認等システムに「資格（無効）」や「資格情報なし」と表示されることについて、厚生労働省ホームページにQ&Aが掲載されましたので、ご確認をお願いいたします。

また、

・Q&Aに示されているような事案が生じた場合には、マイナンバーカードの健康保険証利用に関する問い合わせ先のマイナンバー総合フリーダイヤル（0120-95-0178）※1でお問い合わせを受け付けていること

・医療機関等の問い合わせについては、オンライン資格確認等コールセンター（0800-080-4583）※2でも受け付けていること。

・資格情報が「資格（無効）」または「資格情報なし」となる場合は、電子処方箋対応施設においても、電子処方箋の交付や、処方箋情報の登録・取得等ができなくなるため、従来の紙の処方箋による対応をお願いしたいことにつきまして、ご確認いただきますよう、よろしくお願いいたします。

※1 受付時間（年末年始を除く）平日 9 時半～20 時、土日祝 9 時半～17 時半

※2 受付時間（年末年始を除く）平日 8 時～18 時、土 8 時～16 時

オンライン資格確認の表示に関する Q & A

別添

Q 医療機関等でオンライン資格確認を利用したら「資格（無効）」や「資格情報なし」と表示されるのですが、なぜこうした事象が起こるのですか。

A 転職等により医療保険の資格変更があった場合には、資格変更後の保険者が、事業主から資格取得届の提出を受けて、新たな資格情報をオンライン資格確認等システムに登録します。事業主から保険者への届出は5日以内とされており、また、今般新たに、保険者は、事業主による届出から5日以内にデータ登録を行うこととしています。事業主が、加入前から被保険者に係る情報を収集するよう促すなどして、当該届出が5日以内に徹底されるようにしていますが、現在、新しい保険証がお手元に届くまでに一定の期間を要するのと同様に、**データ登録までには一定の期間を要するため**、この間に医療機関等でオンライン資格確認を利用すると、「資格（無効）」や「資格情報なし」と表示されます。

また、オンライン資格確認等システムにおいては、**新規データ登録時にシステムチェック**を行っています。データ登録時の誤りを防止するために、**誤りの疑いがある場合には、オンライン資格確認等システムへの連携を一時的に止めて、保険者において確認**を行っています。当該確認の期間中に医療機関等でオンライン資格確認を利用した場合にも「資格（無効）」や「資格情報なし」と表示されることがあります。

※資格情報が「資格（無効）」「資格情報なし」となる場合は、電子処方箋対応施設においても、電子処方箋の交付や、処方箋情報の登録・取得等ができなくなるため、従前どおり紙の処方箋により対応いただくようお願いいたします。

5) 【再掲】 保険に関する情報は「豊島区薬剤師会保険部グループページ」をご覧ください

豊島区薬剤師会では保険関係の情報を細かく伝達するために、専用のページを設けております。URLより通知等の原文のPDFが閲覧可能です。

<https://drive.google.com/drive/u/1/folders/1Izvjl6An3GWZy3JDSlgLSOTVlawLkDRX>

学術部より

1) 豊島区薬剤師会学術勉強会のお知らせ

7月の勉強会は次のとおり実施いたします。

日時：令和5年7月20日（木）19:45-21:30

場所：今回は情報通信機器（Zoom）を用いて実施いたします。

内容：

・特別講演 19:50 ～ 20:50

「関節リウマチ治療におけるbDMARDs、tsDMARDsのポジショニング

～バイオシミラーも含めて～」

演者：日本大学医学部 内科学系血液膠原病内科学分野 診療教授 北村 登 先生

・ディスカッション 20:50～21:20

「地域で考えるリウマチ治療について」

☆今回の勉強会は東京都薬剤師会薬剤師生涯研修認定制度の認定単位1点となります。

☆申し込みを豊島区薬剤師会HPからの参加登録のみに限らせて頂きます。

☆申し込み方法：豊島区薬剤師会HPにアクセス→「勉強会・研修会情報」→

「お申し込みはこちら」をクリック→必要事項を入力し送信

☆参加受付開始日時：令和5年7月3日（月）9:00～7月14日（金）12:00

☆ご参加を事前申し込み100名様までと限らせて頂きます。

☆認定単位をご希望の方で薬剤師免許証コピー未提出の方は薬剤師免許証のコピーのFAXをお願いいたします。（過去に提出されていれば結構です。）

2) 【再掲】勉強会・研修会の単位付与について

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、現在のところ、豊島区薬剤師会の勉強会・研修会は、情報通信機器を用いた研修を中心に実施しておりますが、単位付与についての問い合わせが増えております。

情報通信機器を用いた研修の視聴確認は、WEBシステム上のログとキーワードの確認によって行っております。

また、単位は個人への付与であることから、各自のログが必要であることと、視聴確認の観点から、キーワードの提示は不定期であり、かつ複数回の提示はないことをご理解いただきますようお願いいたします。

なお、単位付与の基本的な考え方について豊島区薬剤師会ホームページに掲載しておりますので、ご確認いただくようお願いいたします。

薬学生実務実習関係

1) 【再掲】東京都薬剤師会「学生向け」「とやく携帯メルマガ」配信のお知らせ

東京都薬剤師会では、薬学生が、卒業後「東京都薬剤師会に入会しよう」という動機づけとなることを期待して、携帯電話によるメールマガジンの配信を開始します。実務実習受入薬局には案内ポスターを配布いたしますので、薬学生への案内をお願いいたします。なお、学生対象ですが、会員への配信も可能です。

池袋あうる薬局輪番

7月の輪番は以下の通りです。出勤よろしくお願ひいたします。

お願ひ ～輪番に入る7日前までに、出勤する方の氏名をあうる薬局まで連絡してください。

7月	日 勤 9:00 ～ 16:30		準 夜 16:00 ～ 22:00	
				受付事務入力兼任
1日(土)			チチブ薬局	北池薬局
2日(日)	高田馬場薬局	こまごめ薬局	日本メディカルシステム巣鴨店	北池薬局
8日(土)			あかまつ薬局	駒込中央薬局
9日(日)	アリス薬局大塚店	雄飛堂薬局上池袋店	池袋萬盛堂薬局	佐藤薬局
15日(土)			かもめ薬局	あうる薬局
16日(日)	雄飛堂薬局 池袋トキワ通り店	上池袋薬局	チチブ薬局	駒込中央薬局
17日(月)	いちょう薬局	さの薬局	うずらやま薬局	めぐみ薬局
22日(土)			アイン薬局池袋駅東口店	北池薬局
23日(日)	ヒバリ薬局	あけぼの薬局南長崎店	平和通り保健薬局	佐藤薬局
29日(土)			薬局マツモトキヨシ 東長崎駅北口店	あうる薬局
30日(日)	池袋駅前げんき薬局	デイジー薬局東池袋店	日本メディカルシステム巣鴨店	めぐみ薬局

長崎休日診療所派遣

7月の輪番派遣は以下の通りです。出勤よろしくお願ひいたします。

7月	
2日(日)	椎名町薬局
9日(日)	デイジー薬局東池袋店
16日(日)	長崎調剤薬局
17日(月)	デイジー薬局東池袋店
23日(日)	池袋萬盛堂薬局
30日(日)	椎名町薬局

医薬品・情報管理センター報告

○管理センター売上及び仕入

2023年5月売上金額 ¥4,072,450—
2023年5月仕入金額 ¥5,725,599—

○相談件数

5月	件数
薬局からの在庫確認	206
薬局からの処方箋応需	16
患者からの処方箋応需	10
医療用医薬品についての相談	2
医療機関の紹介	1
一般用医薬品についての相談	0
その他	9
合計	244

○池袋あうる薬局処方せん受付状況

5月 休日夜間 127 枚
 其 他 299 枚

○情報発信

フレイル予防について

フレイルとは健康と要介護・寝たきりの間を指し、加齢によって心身老い衰え、社会とのつながりが減少した状態のことです。フレイルのサインに早めに気づき、適切な対応をすることで、健康な状態に戻ることができるかとされています。

2020年からのコロナ禍によって、フレイルの状態の人は増加傾向にあるようです。また、社会参加の機会の減少がフレイルの要因になりやすいことがわかっています。

《豊島区の取り組み》

豊島区にはフレイルの普及啓発やフレイルサポーターの養成、フレイルチェックを行うフレイル対策センターがあります。また、聞き取る機能の衰えについて測定できるヒアリングフレイルアプリを活用した耳の健康チェックを無料で行っています。

そして、豊島区オリジナルの介護予防体操の「としまる体操」があります。教える側と教わる側の関係を作らず、輪になり集まった方々で声を出しながら行う体操です。

活動量が少ない方が無理なく行える「すわってとしまる体操」もあります。これは車いすの方におすすです。

「人生100年時代」と言われています。いつまでもイキイキと自分らしい生活続けるために、フレイル予防に取り組みましょう。

【参考文献】

<https://www.city.toshima.lg.jp/167/kenko/koresha/kaigoyobo/1903181809.html>
<https://www.city.toshima.lg.jp/167/2107140854.html>

文責 中野

理事会報告

2023年6月7日（水）午後8時30分より豊島区薬業会館にて理事会が開催されました。

出席者：佐野会長 伊原副会長 佐藤副会長 江村副会長 田崎常務理事 元谷常務理事
前原常務理事 南出常務理事 黒須理事 原嶋理事 小林理事 北川理事 原田理事
藤平理事
廣田監事

○報告事項

1. 学術・薬学実習生担当報告
2. 防災公衆衛生担当報告
3. 総務・会計担当報告
4. 保険担当報告
5. 地域医療担当報告
6. 池袋あうる薬局担当報告

○協議事項

1. 情報発信のナンバリング設定の件
従来通り日付・発信部・担当理事を記載していくことが決定された。
2. 緊急医療救護所・医療救護所等備蓄医薬品管理委託契約医薬品の見直しの件
状況等を考慮しながら今後検討をしていくことが決定された。
3. 役員選任・選挙規定制定について
選考委員会による選考方式を採択することが決定された。
4. 第56回日本薬剤師会学術大会参加人員の件
理事の参加者が決定された。
5. オンライン服薬指導に関する会員向けの勉強会の件
メドレー（CLINICS）によるオンライン服薬指導に関する勉強会をまずは試験的に行うことが決定された。

○審議事項

1. 通常総会付議事項（令和4年度事業報告・収支決算書（案）等）承認の件
通常総会付議事項となる令和4年度事業報告・収支決算書等（案）について承認された。
2. 職員の夏季賞与の件
職員の夏季賞与が決定された。

豊島区薬剤師会の活動（5月）

- 5／ 11 池袋あうる薬局運営委員会
13 東京都薬剤師会 地区及び職域薬剤師会会長会
16 豊島区薬剤師会 理事会
18 豊島区薬剤師会 学術勉強会
27 大同病院院長偲ぶ会
30 第1回地域医療連携推進会議

医薬品分割販売利用案内

令和元年10月

公益社団法人豊島区薬剤師会 会長
豊島区医薬品・情報管理センター センター長

※要遮光の医薬品（散剤、顆粒、ドライシロップ、水剤）について、仕切り書と薬ラベルに「遮光」と記載することになりました。保存に関しては各薬局にて管理をお願いいたします。

1. 分割販売品目

医薬品約1800品目、投薬ビン・軟膏壺などの医療材料

豊島区薬剤師会ホームページに販売品目リストを掲載しております。

2. 販売単位

錠剤・カプセル	1錠・1カプセル単位
散剤・顆粒・ドライシロップ	1g単位（バラ）、1包単位（分包品）
水剤	1ml単位（バラ）、1包単位（分包品）
軟膏・クリーム	1g単位（バラ）、1本単位（チューブ）
点眼・点耳・吸入	1本単位
ハップ剤	1袋単位
坐剤	1個単位
医療材料等	1個単位

容器が必要な場合は、所定の容器（有料）を使用いたします。

3. 販売価格

医薬品	薬価（消費税込）
その他（医療材料等）	取扱品目リストに掲載

4. 手数料

豊島区薬剤師会 会員	無 料
区外 東京都薬剤師会 会員	1回 110円（消費税込）
その他医療機関	1回 2200円（消費税込）

5. 検収・返品

医薬品受領時に必ずご確認ください受領印もしくは自署をお願いいたします。
品質管理上、返品はできません。
ただし、メーカー回収の場合は、この限りではありません。

※使用期限が2ヵ月未満の場合は事前に確認の連絡をさせていただきます。
2ヵ月以上でも期限の確認が必要な方は発注書の備考欄にその旨をご記入ください。

6. 発注方法

注文方法 : 専用の発注書に必要事項を記入のうえ、FAXにてご注文ください。
(電話での注文はお受けしておりません。)

受付時間 : 9時 から 16時30分 月曜日～土曜日

受取時間 : 9時 から 17時 月曜日～金曜日
9時 から 21時30分 土曜日・日曜日・祝日

※年末年始、棚卸等により臨時休業する場合があります。(ホームページでご確認ください)
※指定の発注書は、ホームページよりダウンロードできます。

7. 利用者の確認事項

初回利用時には、開設許可証の写しをご提出いただきます。
また、都薬の会員証をお持ちの方は会員証の写しもご提出ください。
なお、豊島区薬剤師会会員の方は提出不要です。

その他開設許可更新等、管理センターが開設許可証の確認が必要と判断した場合には、再度ご提出いただくことがあります。

8. 支払い方法

豊島区薬剤師会会員は、原則として月末日締めの「翌月口座引落」となります。
その他の方は、「薬品受け取り時に現金支払い」となります。

- * 管理センターでは、会員様の要望のあるものにつきまして、取り扱いを検討し、採用するか否かを決定する資料として使用します。つきましては下の要望書に記入し、あうる薬局に提出してください。FAXでかまいません。
- * 集計管理上、1枚1品目とし、複数の場合はコピーしてお使いください。

.....(きりとり).....

医薬品管理センター取り扱い要望書

令和 年 月 日

薬局名 _____ 印 _____

以下の製品の取り扱いを要望します

製品名 _____ 規格 _____

管理センター取り扱いリスト追補

* 新規取り扱い（過去に中止または停止したものの再開、リスト作成時に漏れたものも含む）

	製品名	小分単位	備考
内	アタラックス錠25mg	錠	
内	アテノロール錠25mg「サワイ」	錠	
内	アロマシン錠25mg	錠	
内	インフリーSカプセル200mg	C	
内	インライタ錠5mg	錠	
内	エースコール錠2mg	錠	
内	ガスコン錠40mg	錠	
内	ギャバロン錠5mg	錠	
内	グラケーカプセル15mg	C	
内	ストラテラ内用液0.4%	ml	
内	セレナール錠10	錠	
内	タリージェOD錠2.5mg	錠	
内	タリージェOD錠5mg	錠	
内	トルバプタンOD錠7.5mg「オーツカ」	錠	
内	ポンタールシロップ3.25%	ml	
内	ミオナール顆粒10%	g	
内	メトクロプラミド錠5mg「NIG」	錠	
外	メロキシカム錠10mg「サワイ」	錠	
外	ラピフォートワイプ2.5%	包	
外	ラミクタール錠小児用5mg	錠	
外	リセドロン酸Na錠75mg「トーフ」	錠	
外	レザルタス配合錠LD	錠	
外	オキナゾール膣錠600mg	錠	
外	ハイドロサイトジェントル銀7.5×7.5cm	枚	
注	インスリングラルギンBS注キット「FFP」	本	

* 取り扱い中止

	製品名	備考
内	アムロジピンODフィルム2.5mg「QQ」	
内	アムロジピンODフィルム5mg「QQ」	
内	エンシュア・リキッド250ml	
内	ツムラ苓姜朮甘湯エキス顆粒（TJ-118）2.5g	
内	ハイパジルコーワ錠3	
内	ボラキス錠3	
内	マリゼブ錠12.5mg	
内	メトクロプラミド錠5mg「テバ」	
内	ラフチジン錠5mg「サワイ」	
外	ポビドンヨードゲル10%「明治」4g	
外	ミリステープ5mg	

やむをえない事情により研修が困難になった場合の措置について

令和5年1月30日

(令和5年5月11日一部改正)

従来、認定薬剤師としての研修が困難になった場合の措置として、「特別な事由による認定期間の延長について」によって取り扱ってきましたが、今後、研修認定薬剤師制度実施要領第28条に規定する「やむをえない事情により研修が困難になった場合の措置」は、下記によることとします。なお、施行日は令和5年2月1日とし、令和5年1月31日限り従来の取扱いを廃止します。

おって、従来の取扱いによって届出を行って措置を認められた認定薬剤師は、従来の取扱い（月単位の認定期間の延長）が適用されますので、改めて手続きを行う必要はありません。また、本日以前に従来の取扱いに基づいて当財団に相談し、届出の方法等について回答を得ている認定薬剤師は、届出を行う前に、まずメールで jpec@jpec.or.jp 宛てに氏名及び現在の状況等を連絡してください。この連絡がないままに届出を行った場合は受け付けられません。

記

1. やむをえない事情により研修が困難になった場合の措置

(1) 認定期間3年間のうちの1年目に研修が困難になった場合

やむを得ない事情が生じた日からその終了日までの期間（以下「事情期間」という。）が、認定期間の1年目の区切りにおさまる場合は、当該1年間について、更新認定申請における各年最低5単位取得の条件（以下「各年単位取得条件」という。）を免除する。事情期間が、認定期間の1年目と2年目に跨がる場合は、その2年間について各年単位取得条件を免除する。

更新申請条件である3年間で合計30単位の取得については変更しない。

(2) 認定期間3年間のうちの2年目に研修が困難になった場合

①事情期間が、認定期間の2年目の区切りにおさまる場合は、認定期間の1年目に各年単位取得条件を満たしている場合に限り、当該1年間について、更新認定申請における各年単位取得条件を免除する。

更新申請条件である3年間で合計30単位の取得については変更しない。

②事情期間が、認定期間の2年目と3年目に跨がる場合は、認定期間の1年目に各年単位取得条件を満たしている場合に限り、その2年間について各年単位取得条件を免除し、かつ認定期間を1年間延長する。

更新申請条件は、延長した1年間を含めて4年間で合計30単位とする。

(3)認定期間3年間のうちの3年目に研修が困難になった場合(事情期間が3年目の区切りを越える場合を含む。)

1年目及び2年目にそれぞれ各年単位取得条件を満たしている場合に限り、3年目における各年単位取得条件を免除し、かつ認定期間を1年間延長する。

更新申請条件は、延長した1年間を含めて4年間で合計30単位とする。

2. やむを得ない事情及びその事情期間として認められる期間

(1)妊娠及び出産(妊娠が判明し研修が困難になってから出産後8週間まで)

(2)育児(育児休業期間又はそれに相当する期間で、最長1年間)

(3)疾病等による長期入院(入院により研修が困難な期間及びそれによって必要となった引き続きの通院期間で、最長1年間)

(4)疾病等による通院(休職している場合に限る。)(休職期間で、最長1年間)

(5)長期に互る家族の介護又は看護(介護休業期間又はそれに相当する期間で、最長1年間)

(6)被害の大きい災害遭遇(災害に遭遇したことにより研修が困難な期間で、最長1年間)

3. 届出

届出は、認定期間の終了日の2か月前までに行うものとする。これを過ぎた場合、届出を行うことができない。また、①更新認定申請と同時、②更新認定申請後又は③更新申請が不承認となった後は、いずれも届出を行うことはできない。

4. 届出の方法

届出は、届出様式1に必要事項を記入し、添付書類を添えて、次の宛先に郵送する(消印有効)。その際、送り先を記載し、必要な郵便料金に相当する切手を貼付した返信用封筒を同封すること。返信用封筒の同封がない場合又は必要な郵便料金に相当する切手の貼付がない場合は、届出は無効とする(その旨の通知は行わない)。

(送付先)

105-0003 東京都港区西新橋2-3-1 マークライト虎ノ門6階

公益財団法人日本薬剤師研修センター 研修A係

5. 届出及び各年単位取得条件免除等証の交付

届出がなされた場合、本財団は、内容及び添付資料に基づいて審査を行い、やむを得ない事情があると認めた場合は、免除期間等の措置を記載した「各年単位取得条件免除等証」を届出者に交付する。

6. 届出の際に必要な書類又は記載(記載の場合、届出様式1中に記載欄がある。)

(1)妊娠及び出産 母子手帳の被交付者氏名並びに交付年月日及び出産予定日が記載されている頁の写し

(2)育児 次のいずれか1つ

①育児休業取扱通知書の写し

②育児を行っていることの記載(育児の期間等を含む。)

(3)疾病等による長期入院 次のいずれか1つ

- ①入院すること及びその期間並びにそれに引き続いて通院治療が必要であること及びその期間が示されている診断書
- ②入院期間が示されている医療機関の領収書の写し(事情期間内のすべての月)及びそれに引き続く通院期間中の医療機関の領収書の写し(事情期間内のすべての月)

(4)疾病等による通院(休職している場合に限る。) 休職していることを証する勤務先発行の証明書類

(5)長期に亙る家族の介護又は看護 次のいずれか1つ

- ①介護休業取扱通知書の写し
- ②介護・看護を行っていることの記載(介護・看護の対象者との関係、その期間等を含む。)及び当該介護・看護対象者が受診等した医療機関等の領収書の写し(事情期間内のすべての月)

(6)被害の大きい災害遭遇 次のいずれか1つ

- ①罹災証明書の写し
- ②災害に遭ったことの記載(災害遭遇日、被害程度などを含む。)及び当該地域において災害等が発生したことを示す新聞等の報道資料の写し

7. 注意事項

- (1)この通知に規定されている事項以外の措置は認められない。また、審査の結果、措置が認められない場合は、更新認定申請の対象とはならず、認定期間終了3か月後以降に、改めて新規認定申請を行うこととなる。
- (2)本措置は、研修認定薬剤師制度、漢方薬・生薬認定薬剤師制度及び小児薬物療法認定薬剤師制度について適用する。ただし、小児薬物療法認定薬剤師制度については、本措置のほかに、要件を定めることがある。
- (3)やむを得ない事情は、2の(1)から(6)までに掲げるものに限る。やむを得ない事情中に長期と記しているものは、3か月以上のものをいう。
- (4)長期海外出張については、e-ラーニング研修が普及し、ウェブ利用研修の開催も増加している現今の状況に鑑み、やむをえない事情の対象外とする。なお、実施要領中にあった当該文言は令和5年4月1日改正により削除済みである。
- (5)いったん「各年単位取得条件免除等証」が交付された後は、再度の届出を行うことはできない。
- (6)届出がなされた場合、措置の適用の可否及び可の場合の事情期間の設定は、審査を行って決定するものであるため、届出を行ったことが即ち措置の適用になることではないことを了知されたい。
- (7)事情期間中に、単位を取得することは支障ない。
- (8)「各年単位取得条件免除等証」の再発行は理由の如何にかかわらず行わない。

8. 更新認定申請時の対応

更新認定申請前に電子メールで jpec@jpec.or.jp 宛てに、氏名、「各年単位取得条件免除証」の発行番号、申請予定日を連絡すること。折り返し、申請方法を電子メールで連絡する。この電子メールで示す申請方法によらなければ、この措置による更新認定申請を行うことができない。

PECS によって更新認定申請を行った後、交付されている「各年単位取得条件免除証」（正本）を、認定申請受付番号を示した書類（受付時に電子メールで送信されたもの）及びその他の必要書類（薬剤師研修手帳など）とともに送付すること。この「各年単位取得条件免除証」（正本）の提出のない場合は、この措置は適用しない。

届出様式 1

やむをえない事情により研修が困難になったことに関する届出

年 月 日

公益財団法人日本薬剤師研修センター 理事長 殿

自宅住所：〒

氏名： (自署)

薬剤師名簿登録番号： 第 号

PECS登録メールアドレス：

PECSユーザID：

次のとおり届け出ます。

1. やむを得ない事情及びそれを証する書類

やむを得ない事情 以下の該当するものに○印	添付書類等 (①、②とあるものはどちらか1つ) (書類名称等は略記) 添付したものは右欄に○印。かつ、○印が太枠内のものは下の記載欄に記載。	
(1) 妊娠及び出産	母子手帳の被交付者氏名等が記載されている頁の写し	
(2) 育児	①育児休業取扱通知書の写し	
	②育児を行っていることの記載 (育児の期間等を含む)	
(3) 疾病等による長期 入院	①診断書 (入院及び引き続き通院必要記載あり)	
	②入院期間及び引き続き通院が示されている医療機関の領収書 (期間中のすべて)	
(4) 疾病等による通院*	休職していることを証する勤務先発行の証明書類	
(5) 長期に亙る家族の 介護又は看護	①介護休業取扱通知書の写し	
	②介護・看護を行っていることの記載 (対象者との関係、期間等を含む) 及び受診等医療機関等の領収書の写し (期間中のすべて)	
(6) 被害の大きい災害 遭遇	①罹災証明書の写し	
	②災害に遭ったことの記載 (災害遭遇日、被害程度などを含む) 及び報道資料の写し	

*：休職している場合に限る

記載欄 (状況がわかるように、かつ簡潔に記すこと。)

注意：必要書類の提出又は必要な記載のない場合は、届出は無効です。

2. 「各年単位取得条件」の免除を希望する年

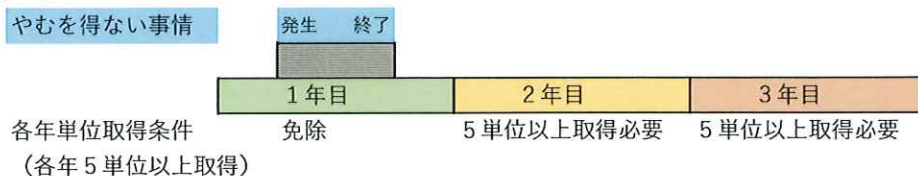
免除希望年(○印を記載)	期間	取得済単位数
1年目	年 月 日 ～ 年 月 日	
2年目	年 月 日 ～ 年 月 日	
3年目	年 月 日 ～ 年 月 日	

以下は記載しないでください。

受付日		受付番号		審査	
-----	--	------	--	----	--

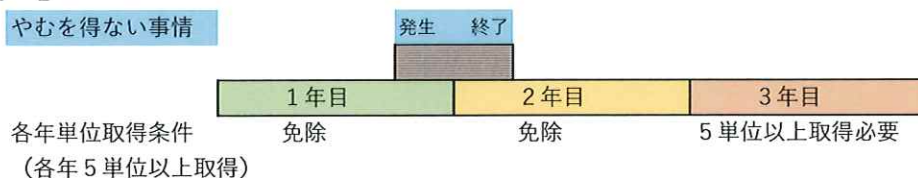
1年目にやむを得ない事情発生

例1-1



↓
3年間合計30単位以上取得で更新認定申請可能

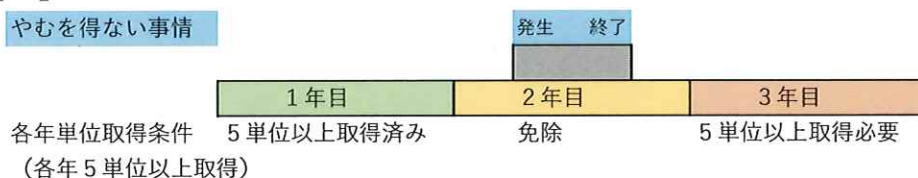
例1-2



↓
3年間合計30単位以上取得で更新認定申請可能

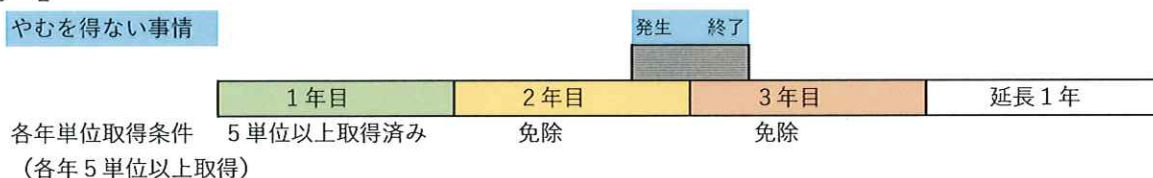
2年目にやむを得ない事情発生

例2-1



↓
3年間合計30単位以上取得で更新認定申請可能

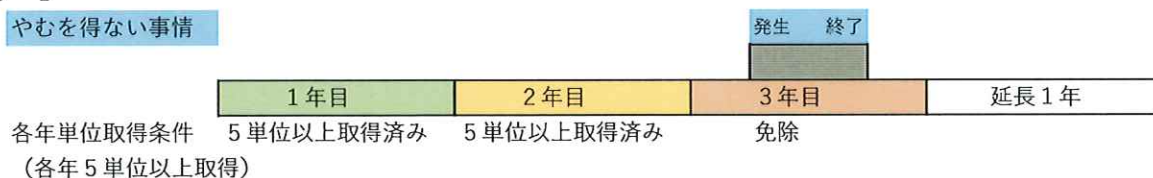
例2-2



↓
4年間合計30単位以上取得で更新認定申請可能

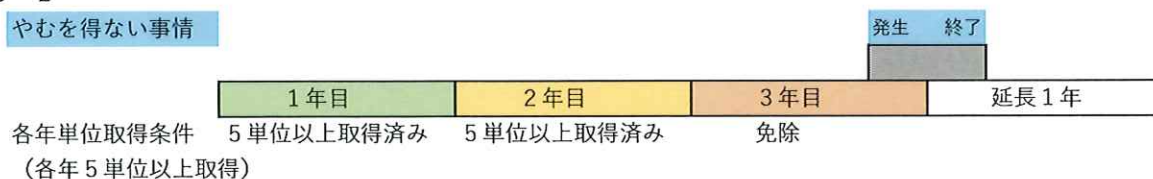
3年目にやむを得ない事情発生

例3-1



↓
4年間合計30単位以上取得で更新認定申請可能

例3-2



↓
4年間合計30単位以上取得で更新認定申請可能

東京都がん診療連携協議会研修部会薬剤師小委員会・東京都薬剤師会・東京都病院薬剤師会
令和5年度 第1回東京都がん薬物療法協議会～三団体合同薬薬連携推進研修会～

●日 時：令和5年7月9日（日）10:00～12:00【Web開催】

●配 信：Zoom ウェビナー

●対 象 者：病院薬剤師、保険薬局薬剤師、薬薬連携に興味がある人

●受 講 料：無料

●Web視聴事前登録URL：https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_02sA622WROsv8BxwXky1ug

●プログラム

9:45～10:00 製品紹介 日本化薬株式会社

総合司会：がん研究会有明病院 薬剤部 副島 梓 先生

10:00～ 開会の辞：がん研究会有明病院 薬剤部 薬剤部長 山口 正和 先生

10:05～ 『2022年度 東京都がん薬物療法薬薬連携推進状況について』

東京都済生会中央病院 薬剤部 係長 間宮 伸幸 先生

10:20～ 『第2回東京都がん薬物療法協議会～三団体合同薬薬連携研修会～参加報告』

ウインファーマグループ ウイン薬局 有明店 銭場 愛彦 先生

国家公務員共済組合連合会 虎の門病院 薬剤部 小田 泰弘 先生

10:50～ 『2023年度 三団体合同薬薬連携研修会の進め方について』

がん研究会有明病院 薬剤部 副薬剤部長 清水 久範 先生

11:05～ 特別講演

座長：聖路加国際病院 薬剤部 薬剤部長 後藤 一美 先生

『柏市における薬薬連携と地域包括システムで果たすべき薬剤師の役割』

演者：一般社団法人 柏市薬剤師会副会長 大塚 昌孝 先生

11:55～ 閉会の辞：スエヤス調剤薬局 文京店 島田 淳史 先生

12:00～ 情報提供 トレーシングペーパーのDX化

Dr. JOY 株式会社 プロダクトマネージャー 杉本 尚士 先生

●受講認定（申請中）：

・日本薬剤師研修センター【申請中】・日病薬病院薬学認定薬剤師制度【申請中】

・東京都薬剤師会 薬剤師生涯研修認定制度【申請中】・JASPO 外来がん治療認定薬剤師制度【申請中】

●Web視聴の注意事項：

・Web配信はZoomとなります。安定した通信環境が準備できる場所で視聴してください。尚、受講者側の通信環境の影響で接続ができない場合については、当方で責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・視聴にかかる通信費は、受講者自身でご負担ください。

・研修シール配布のため、受講者のログイン・ログアウトタイムを管理します。遅刻、早退された場合は受講認定のシール配布は行いません。

・日本薬剤師研修センター認定単位、日病薬病院薬学認定薬剤師制度認定単位、東京都薬剤師会認定単位（東京都内のご施設在籍者のみ対象）は、いずれか1つのみ取得可能です。

・単位を希望の方は研修会で提示するキーワードを報告いただきます。報告キーワードが間違っていた場合、認定シールの配布は行いません。

・JASPO 外来がん治療認定薬剤師制度を希望される方は報告書提出が必要になります。

・研修シールまた受講証は、オンライン上・郵送・メールのいずれかで付与されます。

・連絡先：TEL 03-6838-8901 メール：shinpei.yokoya@nipponkayaku.co.jp

・災害や新型コロナウイルス感染症の影響等により研究会が中止になる場合は、東京都薬剤師会・東京都病院薬剤師会ホームページにてお知らせいたしますので必ずご確認ください。



Web 配信視聴方法

Web 視聴事前登録 URL : https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_02sA622WROsv8BxwXky1ug

・視聴登録後、登録受付メールをお送り致します。

登録後 24 時間以内にメールが届かない場合は、下記の Zoom 運営窓口までご連絡をお願い致します。

・本名以外（ニックネーム等）でのご登録はご遠慮ください。

・ご登録頂きました個人情報は、本セミナーの運営および単位取得に関する目的以外には利用致しません。



事前準備

■ パソコンからご参加いただく場合

Webブラウザからご参加頂けますが、デスクトップアプリ「ミーティング用Zoomクライアント」の使用を推奨しております。Zoom公式ホームページの画面最下部の「ダウンロード」からアプリをダウンロードして、インストール・アップデートをお願い致します。

■ タブレット・スマートフォンからご参加いただく場合

アプリ「ZOOM Cloud Meetings」のインストールをお願い致します。

※本セミナーの参加に際しては、Zoomにサインアップ（アカウント取得）する必要はございません。

セミナー当日の参加方法

Windowsパソコンでの参加方法の一例をお示しします。

パソコン環境やデバイス等により表示・手順が一部異なる場合がございますが、基本的な流れは同様になります。

- 1** 登録受付メールに記載されている「ここをクリックして参加」を、クリックしてください。

PC、Mac、iPad、iPhone、Androidデバイスから参加できます：

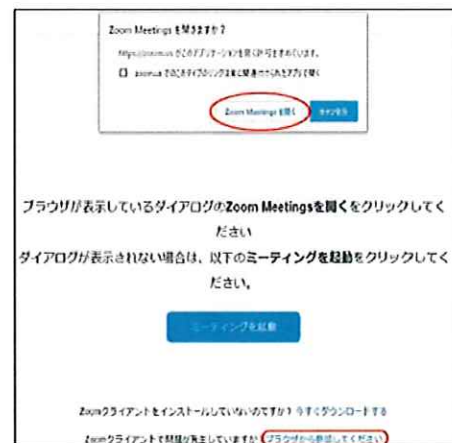
ここをクリックして参加

注：このリンクは他の人と共有できません。あなた専用です。

※実際に送付されますメールとは、記載が異なる場合がございます。

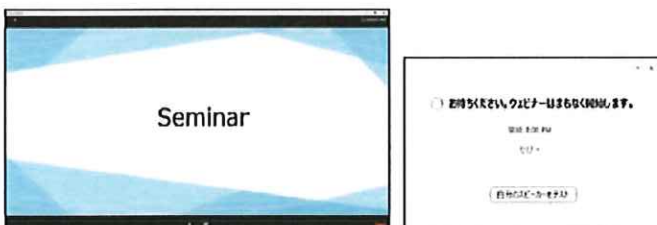
- 2** Webブラウザが立ち上がり、デスクトップアプリ「ミーティング用Zoomクライアント」の起動を確認するメッセージが表示されますので、「開く」をクリックしてください。

※タブレット等では「ZOOM Cloud Meetings」



パソコンでWebブラウザからご参加頂く場合は、確認メッセージをキャンセルし、こちらをクリックしてください。お名前入力画面が表示されますので、本名の入力をお願い致します。

- 3** 下記いずれかの画面が表示され、セミナーへの参加が完了となります。



※右側の画面が表示された場合は準備中となります。セミナーの準備が整い次第、自動的に左側の画面に移りますので、そのままお待ちください。

※パスコードの入力画面が表示された場合は、登録受付メールに記載されているパスコードをご入力ください。

登録受付メールが届かない等の web 視聴に関するトラブルがございましたら、下記までご連絡ください。

Zoom 運営窓口 : zoomlive@ai-s.co.jp

(別紙)

チェック・アップロドモ A 使用後にアナフィラキシーを発現した症例のライシリスト

	製品名	年齢	転帰	既往歴等
1	チェック・アップロドモ Ab (ストロベリー味)	4 歳	回復	食物アレルギー (牛乳・鶏卵)、アトピー性皮膚炎、急性肺炎
2	チェック・アップロドモ Aa (グレープ味)	9 歳	回復	食物アレルギー (鶏卵、山芋、クルミ、ピーカンナッツ)、 副作用歴 (サワシリンによる多形紅斑)
3	チェック・アップロドモ Aa (グレープ味)	7 歳	回復	喘息

● 申込書 ●

『公衆衛生に関する Q&A ～健康サポート編～』

- ・ 販 売 価 格：600円／冊（税込・送料実費）
- ・ 都薬会員価格：200円／冊（税込・送料実費）

申込年月日	年 月 日
地区名 勤務先（薬局名）	
申込者氏名	
請求書宛名	※上記と同じ場合は記入不要
都薬会員番号	
お届け先住所	〒
連絡先（TEL）	（ ）
メールアドレス	※FAX でお申込みいただく場合は記入不要
申込冊数	冊

公益社団法人 東京都薬剤師会 職能対策課
e-メール：syokunou@toyaku.or.jp
FAX：03-3295-2333

Q&A

Q.NTT ドコモ社の薬局システムを年会費で支払っておりますが、ファルモ社の薬局システムに切り替え、途中解約となった場合どうなりますか？

A. NTT ドコモ社の薬局システムを途中解約した場合、月割計算で利用しなかった月分の返金が行われます。詳細につきましては、令和4年12月23日付け日薬情発第160号をご確認ください。

Q.NTT ドコモ社の薬局システムでファルモ社の「e お薬手帳 3.0」のお薬手帳情報を閲覧すること、またはファルモ社の薬局システムで NTT ドコモ社の「e お薬手帳」のお薬手帳情報を閲覧することは可能ですか？

A.ファルモ社の「e お薬手帳 3.0」及びその薬局システムも NTT ドコモ社の「e お薬手帳」及びその薬局システムも e 薬 link に対応しておりますので、e 薬 link 機能を通じて相互でのお薬情報の閲覧が利用可能です。ただし、処方せん送信機能等の各社独自の機能につきましては、スマートフォンアプリと薬局システムの会社が一致している必要がございます。

Q. NTT ドコモ社の薬局システムを利用しておりませんが、ファルモ社の薬局システムを申し込むことは可能でしょうか？

A.新規申し込みも可能です。6月公開予定の「e お薬手帳 3.0」の web サイトよりお申し込みください。

Q. ファルモ社の薬局システムの年額費用はいくらですか？

A. 15,000 円/年（税別）を予定しております。（別途初期費用）

※ドコモ社の薬局システムは現行 39,600 円/年

一般社団法人



日本医療薬学会

Japanese Society of Pharmaceutical Health Care and Sciences

2023年度 入会のご案内



医薬品適正使用のための良質なエビデンスを構築し、
薬学的観点から医薬品の有効性・安全性の確保を目指します。

対象: 薬剤師、学生、教員、製薬企業関係者、行政関係者





日本医療薬学会が目指すもの

医薬品適正使用のための良質なエビデンスを構築し、
薬学的観点から医薬品の有効性・安全性の確保を目指します。



第八代会頭 山本 康次郎
(2022年4月～現在)

日本医療薬学会は、 3つの「力」を推進します

薬剤師力

エビデンス
構築力

社会貢献力

日本医療薬学会では、学術的基盤に立脚した薬の専門家として広い知識と練磨された技能を備えた薬剤師を「医療薬学専門薬剤師」として認定する制度があります。また、薬剤師に関する資格として初めて医療法上広告が可能な「がん専門薬剤師」を認定しています。さらに、広範な領域の薬物療法について一定水準以上の臨床能力を有する「薬物療法専門薬剤師」、薬局薬剤師を対象とした「地域薬学ケア専門薬剤師」を認定しています。そして、各々に関して一定の基準を満たした場合は、「指導薬剤師」として認定しています。

医療薬学専門薬剤師制度	
医療薬学専門薬剤師*	1,646名
医療薬学指導薬剤師*	872名
医療薬学専門薬剤師研修施設*	314施設
がん専門薬剤師制度	
がん専門薬剤師*	731名
がん指導薬剤師*	315名
がん専門薬剤師研修施設*	334施設
薬物療法専門薬剤師制度	
薬物療法専門薬剤師*	52名
薬物療法指導薬剤師*	54名
薬物療法専門薬剤師研修施設*	237施設
地域薬学ケア専門薬剤師制度	
地域薬学ケア専門薬剤師*	65名
地域薬学ケア専門薬剤師(がん)*	163名
地域薬学ケア専門薬剤師研修施設(基幹)*	185施設
地域薬学ケア専門薬剤師研修施設(連携)*	199施設

※2022年1月現在

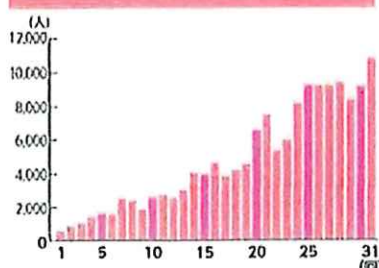
薬物療法は、年々高度化・複雑化しています。薬のリスクを最小に抑えつつ効果を最大にするには、薬物療法に関する良質なエビデンスが必要です。

日本医療薬学会は、基礎および臨床研究を通じて薬剤業務の学術基盤を構築し、医療現場に還元するため、学術集会の開催、学術誌や関連刊行物の発行などに取り組んでいます。

学術集会(年会)の参加者は近年は10,000人を超えており、多数の研究成果が発表されています。



年会 参加者数



近年、医療技術の進展とともに薬物療法が高度化しているため、医療の質の向上及び医療安全確保の観点から、多職種チーム医療の実践が求められています。日本医療薬学会は、医療に直接携わる薬剤師だけでなく、製薬企業、行政、保健衛生関係機関、大学など、薬に関わる全ての職種の連携を推進し、薬物療法の知識と技術を進歩・普及させることで社会に貢献するとともに、社会に求められる医療人の育成に努めています。



医療人に求められるもの

医療の高度化・複雑化に対応した専門知識・技術の修得

豊かな人間性、高い倫理観、医療人としての深い教養

問題発見能力・問題解決能力及び現場で活躍できる実践力



信頼の証～日本医療薬学会の専門薬剤師制度

良質・安全な医療を提供するため、
チーム医療において高度な専門性を発揮し活躍できる薬剤師を養成・認定しています。



専門薬剤師制度運営委員会 委員長 石澤 啓介 徳島大学 教授・薬剤部長・総合臨床研究センター長

日本医療薬学会は、1998年に認定薬剤師制度を開始し、その後「がん専門薬剤師制度」「薬物療法専門薬剤師制度」が加わり、各領域の認定者育成を図ってきました。2020年には、認定薬剤師制度から「医療薬学専門薬剤師制度」への移行、「地域薬学ケア専門薬剤師制度」の新設、認定要件の統一化や連携施設制度の創設など、専門薬剤師制度の大改革を行いました。専門薬剤師制度はチーム医療で高い専門性を発揮できる薬剤師の質保証であり、患者さんに安心感を与えるもの、すなわち「信頼の証」です。病院・薬局・大学で勤務する多くの薬剤師が専門認定を取得されることを願っています。

薬物療法専門薬剤師認定委員会

委員長 関根 祐子 千葉大学大学院薬学研究院 教授



年々高度化が進む臨床現場で治療を成功させるためには、薬剤師がいかに薬物治療に貢献できるかにかかっています。薬物療法専門薬剤師は、根拠に基づいた薬物治療を実践できる薬剤師の証となるものです。多くの薬剤師の皆さんがこの認定を取得され、臨床に貢献できる薬剤師として活躍されることを期待しています。

がん専門薬剤師認定委員会

委員長 池田 龍二 宮崎大学医学部附属病院 教授・薬剤部長



がん専門薬剤師は、がん薬物療法等において高度な知識・技術と臨床経験を有する薬剤師です。がん患者さんや他職種が何を求めているかを抱えず意識し、薬剤師として今何をすべきなのか、あるいは、自分は将来どんな薬剤師になりたいのかを考えたときに1つの目標となるのが、がん専門薬剤師であると思います。

主な対象者：
病院薬剤師

薬物療法
専門薬剤師

がん
専門薬剤師

主な対象者：
病院薬剤師

主な対象者：
臨床系教員
薬剤師

医療薬学
専門薬剤師

地域薬学ケア
専門薬剤師(がん)
地域薬学ケア
専門薬剤師

主な対象者：
薬局薬剤師

医療薬学専門薬剤師認定委員会

委員長 花輪 剛久 東京理科大学薬学部薬学科 教授



「医療薬学専門薬剤師」は、「医療薬学に関する高い知識・技能を備え、かつ社会から信頼される薬剤師を養成し、認定者自らの臨床経験に基づいた教育・研究活動の実践を促進することで、医療薬学の進歩・普及と国民の保健・医療・福祉に寄与すること」を目的として制定されています。一人でも多くの先生方に「医療薬学専門薬剤師」になっていただくよう、お待ちしております。

地域薬学ケア専門薬剤師認定委員会

委員長 豊見 敦 南海老園豊見薬局 管理薬剤師



本制度は、地域医療において質の高い薬学ケアを実施するため、様々な領域の薬物療法において高度な知識・技能及び臨床能力を修得することができる制度です。「地域薬学ケア専門薬剤師」と副領域を定めた「地域薬学ケア専門薬剤師(がん)」の認定を行います。より質の高い薬局薬剤師業務の実践にお役立てください。



学会活動のご紹介

薬のプロフェッショナルが集い、医療に直結する薬学分野の研究・教育を通して、
学術の発展と国民の福祉向上に寄与しています。

1 学術集会の開催

年会、公開シンポジウム、講習会、セミナー等の開催

主な年間スケジュール(2023年度)※予定



※最新情報は学会ホームページをご確認ください。

2 医療薬学関連刊行物の発行

- 学術誌「医療薬学」およびオープンアクセス英文誌「Journal of Pharmaceutical Health Care and Sciences」の編集・発行を通じて最新の学術成果を迅速に公表
- 「薬剤師のための疾患別薬物療法」シリーズ等、教科書・参考書の編集・出版

3 2022年度 学会賞の表彰

功績賞、日本医療薬学会賞、奨励賞、Postdoctoral Awardの表彰と成果の周知

功績賞

MeijiSeikaファルマ株式会社
医薬研究開発本部
吉光寺 敏泰さん

熊本大学病院
薬剤部
齋藤 秀之さん

日本医療薬学会賞

名古屋大学医学部附属病院
薬剤部
山田 清文さん

奨励賞

秋田大学医学部附属病院
薬剤部
赤嶺 由美子さん

兵庫医科大学病院/兵庫医科大学
感染制御部
植田 貴史さん

熊本大学大学院生命科学研究部
臨床薬理学分野
近藤 悠希さん

京都大学医学部附属病院
薬剤部
中川 俊作さん

Postdoctoral Award

北海道大学病院
薬剤部
岡本 敬介さん

信州大学医学部附属病院
薬剤部
小澤 秀介さん

順天堂大学医学部附属順天堂医院
薬剤部
笹野 央さん

医療法人社団緑成会 横浜総合病院
薬剤部
佐村 優さん

北海道大学病院
薬剤部
梨本 俊亮さん

徳島大学病院
総合臨床研究センター
新村 貴博さん

学会賞表彰者

17名

金沢大学附属病院
薬剤部
藤田 有美さん

大嶺薬品工業株式会社
薬物動態研究所
森田 時生さん

旭川医科大学病院
薬剤部
山本 譲さん

大阪大学大学院医学系研究科
薬理学講座
若井 恵里さん

第33回日本医療薬学会年会のご案内

この度、第33回日本医療薬学会年会を2023年11月3日(金)から5日(日)の3日間、宮城県仙台市・仙台国際センターをメイン会場にて開催する運びとなりました。

第33回年会は2011年に起きた東日本大震災から12年を迎える年です。本年会ではこの先12年の医療薬学の未来を創るために、今我々がしなければならないことを共に考え、各領域における目標や課題を共有したいと考え、メインテーマを「医療薬学のこの先12年へのメッセージ」と致しました。

本年会では、現地開催を主として、一部Web参加を併用させたハイブリッド形式にて開催する予定ですが、是非、仙台にお越しになって12年経った今の東北も併せてご覧になって頂ければ幸いです。ご参加される皆様にとって、実りある場となり、意見交換の場となりますことを心より願っております。皆様のご参加をお待ち致しております。

第33回日本医療薬学会年会

年会長 三浦 昌朋

秋田大学大学院医学系研究科 薬物動態学講座 教授

会 期

2023年 11/3(金)・4(土)・5(日)

ハイブリッド開催(現地開催+会期後オンデマンド配信)

年 会 長

三浦 昌朋 秋田大学大学院医学系研究科
薬物動態学講座 教授

会 場

仙台国際センター
東北大学百周年記念会館 川内萩ホール

テ ー マ

医療薬学の
この先12年へのメッセージ

年会事務局

秋田大学医学部附属病院薬剤部
〒010-8543 秋田市本道1-1

運営事務局

日本コンベンションサービス株式会社 東北支社
〒980-0824 仙台市青葉区支倉町4-34丸金ビル6階
E-mail: 33jsphcs@convention.co.jp

学 会 H P

<https://site2.convention.co.jp/33jsphcs/>



第32回日本医療薬学会年会 開催報告



第32回年会には10,200名以上が参加しました。

第32回年会は、本学会の年会としては初めて現地開催とWeb配信(ライブ+会期後オンデマンド)を併用するハイブリッド形式での開催となりました。2022年9月23日～25日に現地会場(Gメッセ群馬等)において開催するとともにライブ配信を行い、オンデマンド配信は同10月11日～11月14日に行いました。

今回は、本年会がSociety5.0の医療薬学を作り上げていくためのキープポイントになればと考え、メインテーマを「知の融合で織りなすSociety5.0の医療薬学」に設定しました。特別講演2題、教育講演3題、国際シンポジウム・企画シンポジウム含む79セッションのシンポジウムを実施したほか、数多くの一般演題が発表され、2年越しの現地開催ということもあり臨場感あふれる年会となりました。現地とWebあわせて10,200名を超える方々に参加いただき、盛会に開催されました。

会員になるには？ —入会について—

日本医療薬学会は、約14,000名の会員(2022年度)を擁する、本分野における国内最大の学会です。
現役薬剤師の方々、将来の医療薬学に関わる薬学生の方々、その他、医療薬学に関心のある方々の入会を心からお待ちしております。

■ 会員メリット

1. 学会誌「医療薬学」(月刊)が送付されます。
2. 学会誌「医療薬学」の投稿料やオープンアクセスジャーナル「JPHCS誌」の掲載料の補助を受けられます。
3. 本学会各専門薬剤師および指導薬剤師の認定取得への道が開けます。
4. 本学会年会、研修会、セミナー等に会員価格で参加できます。
5. 本学会事業に関する情報がメールで届きます。

■ 会員資格・年会費

医療薬学に関心のある方なら誰でも会員になることができます。

	正 会 員	9,500円
年会費	学生会員	2,000円

■ 入会の手続き

お申込みはHPから [日本医療薬学会 入会](#) [検索](#)

<https://www.jsphcs.jp/tetsuzuki/1-2.html>
詳しい情報についてはホームページにアクセスしてください。

学術誌のご紹介

月刊誌「医療薬学」は国内向け学術誌で、厳正な査読により質が高いと認められた医療薬学に関する投稿論文を掲載しています。和文だけでなく英文でも投稿が可能です。優れた研究成果を医療現場のみならず広く社会へ還元することを目指しています。また、医療薬学に関連する寄稿として専門薬剤師リレーエッセイや医療薬学会主催の年会・医療薬学公開シンポジウムの案内等も掲載し、会員に有益な情報を提供しています。

2022年度
医療薬学誌
論文賞



神奈川県警友会けいゆう病院
薬剤師
猪狩 賢蔵さん
公立学校共済組合中国中央病院
薬剤師
在間 優衣さん
徳島赤十字のみなね総合療育センター
診療部薬剤師
浜田 茂明さん



「Journal of Pharmaceutical Health Care and Sciences」は、本学会が発行する英文誌として、BioMed Central社より出版されているオープンアクセスジャーナルです。医療薬学の学問的基盤の強化と発展という学会の使命をサポートするだけでなく、医療薬学に関連する幅広い領域の研究成果を世界に向けて発信しています。また、世界各国からの投稿を受けつけており、医療薬学分野の発展に貢献できる国際誌を目指しています。

2022年度
JPHCS誌
論文賞



三重大学医学部附属病院
薬剤師
岡本 明大さん
北里大学メディカルセンター
薬剤師
青木 学一さん
国立成育医療研究センター
薬剤師
齊藤 順平さん



一般社団法人
日本医療薬学会

学会事務局

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-12-15 日本薬学会 長井記念館7階
TEL:03-3406-0787(代表) FAX:03-3406-0789
URL <https://www.jsphcs.jp/> E-mail info@jsphcs.jp

